



# 松木 千俊 (Chitoshi Matsuki)

観世流能楽師 重要無形文化財総合指定保持者

1962年(昭和37年)三代続く、観世流能楽師シテ方松木家の長男として誕生

学習院中等科・高等科 卒業

東京藝術大学 邦楽科 卒業

一般社団法人「松の会」代表理事

一般社団法人「観世会」理事

公益社団法人「能楽協会」所属

一般社団法人「日本能楽会」所属

坂城町特命大使(長野県埴科郡坂城町)

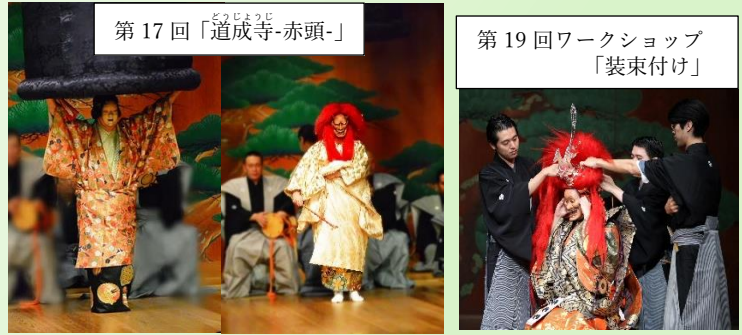
## 檀の会 (まゆみのかい)

昭和62年に父・松木千冬が発足し、平成5年父亡き後、引き継ぎ毎年主催している会。父の出身地長野県長野市檀田の一字をとり「檀の会」と命名した。当時内弟子中の身ながら第1回の「羽衣(はごろも)」のシテを勤める。第28回檀の会では、亡き父の23回忌追善として「安宅(あたか)」、第31回では独立30周年記念能として「卒都婆小町(そとわかまち)」を抜く。



## 松能会 (まつのうかい)

平成17年、舞台と見所(客席)が一体感をもって舞ってみたいという思いから主催している会。現在では初心者の方にも親しみやすい取り組みをされており、わかりやすい演目を毎回舞っている。また、小鼓や太鼓体験・装束付けなど、舞台・見所を使用して様々なワークショップも実施している。第17回では特別公演として3回目となる「道成寺(どうじょうじ)-赤頭-」を勤める。



## 能楽文化の普及活動

- ・各学校(幼稚園・小学校等)での能楽教室  
日本の伝統芸能である「能楽」に興味・関心を抱いてもらえるよう各地で開催している。
- ・能楽ワンコイン講座  
東京都練馬区・新橋・千葉県船橋市・印西市の4会場で毎月開催している。



# 能楽文化の普及・伝承

## 松謳会 (しょうおうかい)

昭和8年に祖父・松木福蔵が設立した社中(アマチュア)発表の会。命名は松木千俊の師である武田志房先生の先々代・武田宗治郎先生によるもので、100年続く会となるのが目標であり東京と長野で年に1回ずつ発表会を開催している。

## 各種能舞台公演

観世会定期能・東京観世会・朋之会・深大寺新能  
坂城薪能・大山薪能・佐渡ろうそく能・花影会  
千俊の会 他

